

「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【長野県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）

1 長野県における令和元年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3万2,400haで、中山間地域を中心とした作付中止等により、前年産に比べ300haの減少が見込まれる。
また、主食用作付見込面積は3万900haが見込まれる。

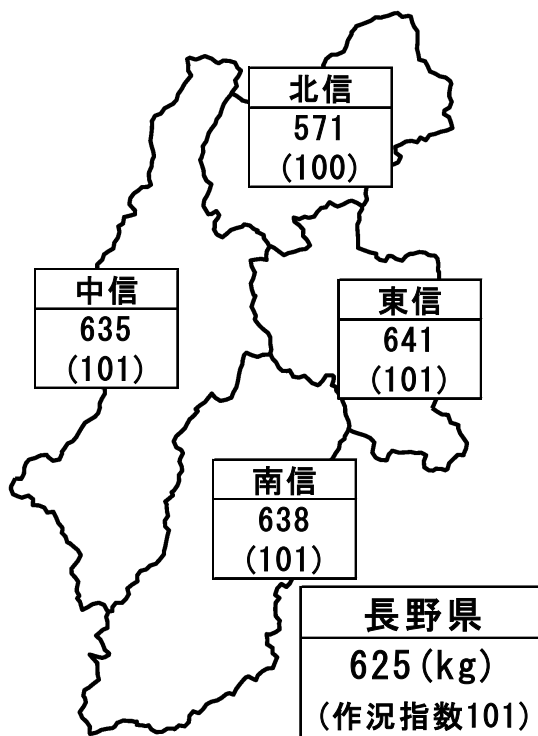
2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂当たりもみ数がやや多かったことから「やや多い」となった。

3 登熟は、8月中旬以降の天候は曇雨天の日が多く日照時間が平年を下回ったことに加え、全もみ数がやや多かったことによる相反作用から「やや不良」が見込まれる。

4 この結果、長野県の10a当たり予想収量は625kgで、前年産に比べ7kgの増加が見込まれる。また、作柄表示地帯別では、東信で641kg（前年産に比べ5kg減少）、南信で638kg（同7kg増加）、中信で635kg（同10kg増加）、北信で571kg（同16kg増加）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された長野県の作況指数は101が見込まれ、作柄表示地帯別では、東信、南信及び中信で101、北信で100が見込まれる。

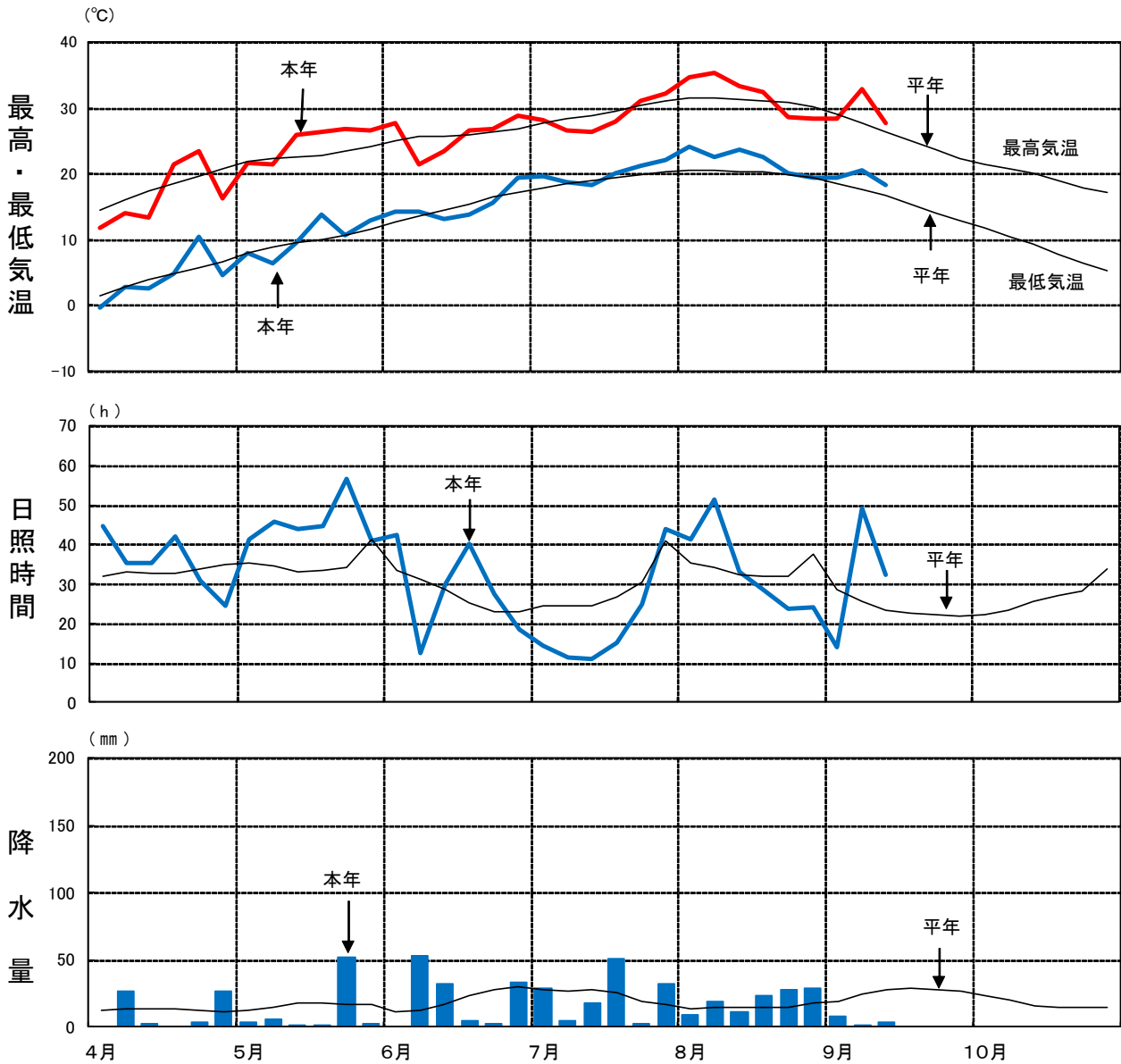
5 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は19万3,100tで、前年産に比べ300tの減少が見込まれる。



○ この資料は、「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（松本）



資料：気象庁

田植期
5/22(Δ1)

出穂期
8/8(+2)

注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。
なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先
 ◎本統計調査結果について
 関東農政局 長野県拠点 統計チーム
 電話：026-234-5577
 F A X：026-235-1397